

2週間のニュージーランド生活

湧別高校2年 佐藤 涼

私はこの2週間でたくさんの事を経験し、たくさんのことを学びました。

私は学校の違いを見つける、文化の違いを見つける、食の違いを見つけるという目標を立ててニュージーランドに行きました。学校では授業中はとても賑やかで、勝手に立ち上がったたり、水を飲んでも良いことやモーニングティータイムという時間があることです。

モーニングティータイムではお弁当の中に入っているお菓子を食べました。文化の違いではバレンタインデーは日本では女子から男子にチョコレートなどをあげますが、ニュージーランドでは男女関係がないこと、ゴミは分別がないということを見つけました。食の違いで見つけたことは主食はジャガイモだということや果物は皮をむかずに丸ごと食べるということです。

車が100kmで走っていることにも驚きました。カーブを曲がる時は遊園地のアトラクションに乗っているようでした。他にもニュージーランドは暗くなるのが遅く、8時を過ぎても外で遊べるくらい明るく日がとても長かったです。そしてホストファミリーの家ではヤギやニワトリを飼っていて家で出される卵は全て家で飼っているニワトリからとっているので卵は買わないことに驚きました。

ホームステイでは「洗濯をしてほしい」、「ホーキーポーキーが食べたい」などの事前研修で勉強した簡単な英語は話せましたが、ホストファミリーと会話をしている中で言っていることは分かっているのに答えても英語が通じなくてホストファミリーを困らせてしまうこともありました。徐々に自分の言いたいことが伝わるようになり、伝わった時はとても嬉しかったです。

ニュージーランドで感じたことは、人の温かさです。休み時間中に会うと「Hello」と言ってくれたり、「一緒にバスケしよう」と話しかけてくれたり、スクールバスに乗った時に「隣座っていいですよ」と言ってくれたり、名前を覚えてくれて話しかけてくれたりと、ニュージーランドの人は笑顔で優しく、そして親切に接してくれました。

この2週間で一番楽しかったことは、ドイツアールビコンファームに行き羊の毛刈りをしたり、乗馬をしたり、ジェットボードに乗ったりと、この日は日本では出来ないような貴重な体験ができた1日でした。ジェットボードに乗ったワイマカリリ川はとても美しく、ジェットボードは何度もスピンをして、水しぶきをあげてとても楽しく、スリル満点でした。乗馬は自分で操作するのでしっかりと動いてくれるか心配でしたが何もしなくてもしっかりと曲がったり止まってくれました。毛刈りでは糸きりバサミを巨大化させた様なもので刈るのですが、力がかなり必要で肉まで刈りそうで恐かったので慎重に刈りました。

今回のニュージーランドを通して、少し積極的になれたと思います。最初は全く通じなかった英語も通じるようになり、ホストファミリーが言っていることを理解できた時には

成長を感じることができました。

ニュージーランドでの生活では不安や苦勞などたくさんありましたが学校で仲良くなった子、そして何よりも私のことを本当の家族のように受け入れてくれたホストファミリーのお蔭でこの2週間は一生の思い出になりました。これからも交流を続けて行きたいと思います。

今回の研修では仲良くしてくれたダーフィールドハイスクールの生徒、親切にしてくれたニュージーランドの方には感謝しています。そして私を受け入れてくれてたくさんの経験をさせてくれたホストファミリーにも感謝しています。またいつか会いたいです。一緒に留学した8人や一般、引率の方にもたくさん助けてもらい、ニュージーランドに何度も来たことがある齊藤さんの存在は大きかったです。

またこのメンバーでニュージーランドに行きたいです。(もっと英語を勉強して)